

1. 園の教育方針

幼児の心身ともに健康な成長発達のために適切な環境を用意し、幼児期にふさわしい集団生活が展開されるよう配慮した幼児教育をめざしている。教職員との信頼関係に支えられた活動、直接体験、友だちとのかかわりを通じて、個々の幼児が情操豊かで、良き生活習慣や人間関係に向かう意欲や態度を培う保育に取り組む。

本園ではめざす教育目標として次の3項目を掲げる。

1. 心身共に健康で情操豊かな子どもに育む。
2. 誰とでも手をつなぎあっている子どもに育む。
3. 人の話がしっかり聞ける子どもに育む。

2. 令和4年度、重点的に取り組んだ目標・計画と自己評価

評 価	S 十分達成されている A 達成されている B 取り組まれているが、成果が十分でない C 取組が不十分である
-----	---

目標・評価項目	取組み内容	取組み状況	評価
1, 教育・保育内容の充実 (1)	幼稚園型認定こども園として、幼稚園として取り組んできた内容に加え、保育を必要とする園児の増加に伴う、組織・体制の再構築に取り組み、教育・保育の原点を見失わず、さらなる充実を図る。本年より2歳児（3号園児）6名の受け入れを開始する。	1号園児244名、2号園児20名、3号園児6名の270名。年少4クラス、年中3クラス、年長3クラス、満3歳1クラス、今年度より受け入れの2歳児つぼみ組を加えて12クラスの編成とした。1学期は新型コロナウイルス感染症に罹患する園児・職員も多数あり、状況を見ながらの保育となったが、できる限り通常の保育を行えるよう努めた。2学期からは運動会・音楽会・絵画展なども感染防止対策を工夫して実施することができた。2歳児クラスについては、開始初年度でもあり、満3歳児クラスとの月齢の差や保育時間の長さも考慮して、6名に対して2～3名の教員を配置し、手厚く対応した。次年度同じ学年となる満3歳児クラスとは1日の活動内容も全く異なるが、年の後半には交流を持つことができ、良い関係が築けた。今後も異学年と交流しながら、個々に合った保育ができるよう心掛けたい。	A

<p>(2)</p>	<p>教職員の信頼関係を築き、良好な人間関係の構築を大事にする。フリー教員と担任教員の学年団体制を強固にし、保育の援助指導面と管理面の分担と連携を図る。</p> <p>要支援児についても、他機関との連携を強め、質の高い保育を目指していく。</p>	<p>カンファレンスを毎週簡潔に行うようにし、園児の状況を頻繁に伝えあうことで、園児についての情報を全教員で共有することができた。また、フリーと担任がうまく連携が取れるように配慮した。支援を要する園児数は年々増加していて、「いちちょう学園」、「子育て支援みらい」等、専門の施設と連携を取り、訪問支援など詳細な指導を受けている。民間の療育施設に通う園児や、東大阪児童相談所・家庭センターと関連する事案も増加しており、複数の施設と情報交換を行っている。</p> <p>今期設置された八尾市こども総合支援センター「ほっぷ」との連携も密にして取り組んでいく。</p>	<p>A</p>
<p>(3) ①指導内容の充実</p>	<p>音楽・絵画・運動・英語に引き続き力を入れると共に、従来の教育課程に専門講師の指導計画をスムーズに組み込み、より質の高い教育内容を目指していく。一人一人の園児の特性に留意しつつ、教育要領の幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を育てるようなカリキュラムの改善に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらではあるが、春と秋の遠足を実施した、泥んこ遊びも密にならないよう控えめに行った。運動会は学年ごとに3日間に分けて無事に開催することが出来た。音楽会は遊戯室でクラスごとに行い、一方通行に入れ替えて、その都度消毒を行った。</p> <p>絵画展についても、今年は園舎内の各クラスで展示し、密にならないように、保護者の来園する時間を何回かに分けて指定し、直接見ていただくことができた。各クラス20分ずつではあるが、保育参観もクラスごとに遊戯室で行った。</p>	<p>A</p>
<p>②保育環境の充実</p>	<p>園庭の樹木・遊具の整備を行う。季節ごとに花の種蒔・植栽をおこない、自然教育の環境を整える。</p> <p>蔵書・楽器の充実を図る。</p>	<p>今年度も園庭開放から新入園児の保育を開始し、スムーズに迎え入れることができた。植栽も随分成長し、園児たちはお花を見たり、かくれんぼをしたり、虫を探したり、思い思いに楽しんでいる。</p> <p>畑で苺・ジャガイモ・キュウリ・トマト・枝豆・稲など様々な野菜を育てて収穫することが出来た。保護者会園芸委員の協力を得て、芋ほりを実施した。本年度から受け入れた2歳児や満3歳児の為の、低年齢児用の絵本、玩具を購入した。</p> <p>クラス編成の都合で、太鼓を追加購入した。</p> <p>真夏の暑さ対策で室内用の運動具を購入した。</p>	<p>S</p>
<p>③預かり保育の充実</p>	<p>長時間の預かり保育利用のためのプログラムの充実化を図る。1号認定児についても、預かり保育・早朝・延長保育を利用しやすい体制の整備を図る。</p>	<p>コロナ対応で1室の園児数を制限しなければならないが、新2号・新3号への補助などで希望者が増加しており、各学年の保育室も利用し、担任も当番制で手伝って、余裕をもって、希望者の受け入れを行った。</p>	<p>A</p>

④食育に対する 取り組み	1号認定児については給食設定は行なわないため、保護者に対してお弁当づくりの意義を伝え、食育に関する必要な情報提供を行なう。	今年度もコロナ対応のため、収穫した野菜を食べたり、会食を行ったりは出来なかったが、年長児が田植えをし、収穫できたお米で飯ごう炊さんを行った。 今後も、給食・お弁当に関係なく、保護者に食育の情報提供を行っていく。	A
⑤徒歩通園の 取り組み	バス通園をおこなわず、保護者には徒歩通園の意義を伝え、子どもたちの健康づくり・親子関係の育みを目指していく。	自転車通園が多いが、最近は禁止している車での通園も見かけられるので、保護者には引き続き徒歩通園の意義を伝え、条例や交通マナーを守って登園していただくよう繰り返しお手紙で啓発していく。八尾市役所・八尾警察署に協力して、園児と保護者を対象に、親子体験型交通安全教室を開催した。	A
⑥教員の指導力の 向上	園内外の研修の充実を図り、教員の指導力向上を図る。	オンライン研修が増えたことで、今まで遠方で参加できなかった研修など、たくさんの研修機会を教員に提供できている。 専門機関との連携の中で、担当指導員とのカンファレンスなどで得た、特別支援教育に関する知識や情報を、教員間で共有している。 特別支援コーディネーターを配置し、専門的な研修に参加している。	A
⑦小学校等との 連携	卒園児が就学予定の地域小学校（主に6校）と連携を深め、就学に伴う問題に対応していく。地域の中学校・高校等の職業体験の受け入れを行う。	地域の中学校・高校の職業体験は先方の都合で取りやめとなったが、小学生との交流は実施できた。幼保小連携研修などに参加し、就園前に幼稚園で取り組むべき課題について理解を深めた。 就学前に地域小学校への引き継ぎを早い時期から開始している。	A
(4) 教職員の 育成・評価・能力 開発を図る	定期的な個人面談・園内研修・自己評価を通じて、教職員の能力向上を促す。	学期ごとに個人面談を行い、悩みや課題を聴取している。 それぞれの個人行動目標シートに年度目標、学期目標を設定させ、具体的な行動、振り返りを記録させ、自己評価をさせることによって、能力、資質の向上を図った。 教育実習、インターンシップを積極的に受け入れ、後進の指導にあたった。	A

2、園の施設、設備、遊具、行事などの総点検	<p>(1) 施設、園庭、設備、遊具などの安全を、常時定期的に確認し、少しでも危険が予測される場合には速やかに改善していく。照明のLED化を進める。園内のICT化について検討を進める。</p>	<p>施設、園庭、遊具の専門業者による遊具の安全点検の結果問題のある個所の改修を行った。全職員が常時、子どもの安全面で問題のある箇所について報告し、対応している。</p> <p>夏休みにホームクラス、年中3室のエアコンを増設し空調設備の改善を行った。</p> <p>園庭の暑さ対策で、テント2張りを購入した。園児トイレの改修を行った。(汚物流しを設置)にこここ橋の改修工事を行った。</p> <p>LED化については今後も進める。</p> <p>園内のICT化のため、園舎内にWi-Fiの設置工事を行った。登降園管理などのシステムは、現在検討を進めている。</p>	S
3、安全管理体制の整備、強化	<p>(1) 火災、災害などの発生に際して園児、教職員をはじめ園内の安全を確保するために、通報、安全確保、避難、保護などの方法、手段のマニュアルを改善し、徹底する。様々な場合を想定した防災訓練を毎月行う。非常用の水・食料の備蓄を行う。</p>	<p>学校安全委員を置き、最善の通報、安全確保、避難、保護などの方法、手段をマニュアルにし、さらに確認し合っている。災害時の様々な状況を想定して、毎月訓練と反省会を行っている。</p> <p>園内の消火器をすべて交換した。</p> <p>排煙装置の改修工事を行った。</p> <p>非常持ち出し用の備品を整備した。</p> <p>災害時用の水やビスケット等をローリングストックとして備蓄している。</p>	S
	<p>(2) 不審者、侵入者などから園児をどう守るか、防御・連携体制を強化する。</p>	<p>監視カメラ、警備員による不審者対策を行っている。園内で2回の訓練の他、7月には八尾警察に来ていただき、訓練に助言をいただき、さすまたの使用法の訓練を行った。</p> <p>保護者証の携帯の徹底に努めた。</p> <p>1月には年長児が、「110番の日」の八尾市のイベントに、子どもパトロール隊として参加した。</p>	A
4、子育て支援の実施	<p>(1) キンダーカウンセラー事業として、専門家を招聘し、在園児であるなしに関わらず地域の子どもの発達に関する相談に応じていく。</p>	<p>毎月カウンセリングの日を設け、保護者だけでなく、地域の子育て世帯や教職員の相談にも応じてもらっている。</p> <p>新型コロナ対策を行いながら、キンダーカウンセリングを実施した。</p>	A
	<p>(2) 未就園児の親子登園(さくらんぼ組)を実施し、集団生活の体験、子育ての情報提供や、参加者間の交流の場の提供を行う。</p>	<p>今年度は新型コロナウイルスの感染者も多く、蔓延防止対策などで、未就園児親子登園(さくらんぼ組)は実施できていない。今後様子を見て再開する予定。</p>	B

	(3) 絵本の貸し出し、読み聞かせ会、子育て相談を実施する。	毎月2回、在園時、卒園児、未就園児に図書室の絵本の貸し出しを行った。 保護者有志の絵本の読み聞かせ会は、コロナ対策をして遊戯室で行っている。 主幹教諭による相談を水曜以外にも随時行い、保護者や園児のコロナ禍での不安や、その他の悩みに対応している。	A
	(4) 課外教室の充実を図る。	さくら英語学院、らいおんスポーツクラブ、学研みらいの課外教室も好評で、感染防止に留意しながら開催されている。	A
5、教職員の勤務、給与について	(1) 従来の給与体系を一定維持しつつ、教職員の職務能力に応じた体系に改定していく。時間外労働を抑制し、有給休暇の取得を促進する。 (2) 認定こども園移行に伴う土曜日の開園について、保育担当教職員と教育担当教職員の負担の公平性に配慮する。	産後パパ育休等に対応し育児休業規程を改訂した。産休を取得する教職員も年々増えている。 処遇改善特例措置の為給与規程を改訂し、適切に対応している。変形労働時間制を実施し、労働環境の改善と、時間外労働の削減に努めた。時間外労働については今年も減少しており、パート職員も含め、平均5日以上の有給休暇を取得した。 土曜日の常勤職員の補助として、学生アルバイトを活用した。	A
6、園に対する保護者の満足度把握、情報共有及び情報公開	(1) 私学の独自性に配慮しつつ子育て中の保護者が期待する幼稚園像を確認し、地域社会に求められる本園の将来ビジョンの策定は引き続き行なっていく。	保護者アンケートだけでなく保護者から直接、意見を聞き、保護者が期待する幼稚園像を把握しつつ、自治体と密に情報交換しながら園の運営を行っている。コロナ対策については、保護者によって様々な考え方があるので、各々に対して、園の取り組みの説明に努めた。	A
	(2) 保護者と教育・保育状況の情報共有をしていく。	降園時には、保護者ひとりひとりに保育状況を伝えている。 行事などの情報の発信に、一斉メールを活用した。	A
	(3) 本園ウェブサイトにより、自己評価及び会計情報を公開していく。ホームページで園の様子や子育て情報の発信に努める。	本園の自己評価・会計情報をウェブサイトに公開した。 園での行事などのブログ発信に努めた。	A

<p>7、新型コロナウイルス等の感染防止に対応する</p>	<p>(1) 園内清掃・消毒の体制を整える</p>	<p>文部科学省・厚生労働省・大阪府・八尾市からの指示に従い、新型コロナウイルス感染防止の為、適切な清掃・消毒を行った。 衛生面の強化の為、トイレ改修を行った。 (汚物流し、自動水栓) 保護者に毎日園児の健康観察カードの提出をお願いし、来園者には検温と消毒を実施している。 10月に八尾市のコロナワクチンの優先接種を職員と、課外講師に実施した。 また、遠足に付き添う職員には事前に抗原検査を実施している。</p>	<p>A</p>
	<p>(2) 行事の実施や実施内容・方法について検討する</p>	<p>遠足については、春はカップ座、自然史博物館、秋は蜻蛉池公園とドリーム21にバスで実施している。どちらもバスの消毒を徹底し1クラス1台、施設は消毒済み。年長は電車で久宝寺緑地に実施。どろんこ遊びは、規模を縮小して行った。プールは人数を減らし、間隔を開けての水遊びに変更した。運動会は各学年ごとに園庭で3日間入場者も保護者2名に制限して行った。 音楽会は各学年ごとに遊戯室で3日間、各クラスごとに時間を変えて、入れ替え制で行った。 絵画展は園舎内の各部屋で、グループに分け入場時間を決めて一方通行にする方法で行った。 毎月の誕生会・クリスマス会・人形劇等も、各学年ごとに行った。 保育参観についても、遊戯室で各クラスごとに、短時間で行い、一方通行での入れ替えごとに消毒を行った。</p>	<p>A</p>
	<p>(3) 休園中の連絡・保育方法 (Web配信等) について検討する</p>	<p>今年度も全園での休園は行わなかったため、動画の配信などは行わなかったが、保護者への家庭保育の協力を依頼しており、欠席している園児には担任からの定期的な電話での状況把握を行った。他に出来ることなど今後に向けて検討していく。</p>	<p>A</p>

3. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果及び今後の課題

A	<p>今年度も新型コロナウイルス感染防止対策のため、行事については実施が難しいものもあったが、実施の時期や方法を変えて行い、概ね目標や計画は達成する事が出来た。今後も保育内容の改善を検討し、様々な状況に対応出来る様努める。昨年に引き続き、保育室の消毒・換気に努め、暑さ対策のため、ホームクラスと年中の保育室のエアコンの増設を行った。設備面では、トイレの改修を行い、衛生面を強化した。現在は園児の登降園管理を人手で行っているが、安全・安心のため登降園管理システムの導入を検討しており、そのための園内のWi-Fiの工事を行った。建築時より長時間経過しているにこにこ橋の改修工事を行うなど施設の安全面の強化を行った。2歳児クラスを開設し、地域や保護者の要望に応えた。今後2号・3号園児の定員を増やすかどうか、状況を見ながら判断していきたい。課外教室・絵本の貸し出し・読み聞かせなども、感染防止対策をとりながら実施できた。未就園児の親子登園のさくらんぼ組については、来年度は実施する予定である。要支援児については、八尾市子ども総合支援センターの開設により、さらに密接に情報交換出来る体制が整ったので、民間施設とも協力して取り組んでいきたい。</p>
---	--

4. 学校関係者評価委員会の意見

<p>4. 学校関係者評価委員会の意見</p> <p>評価項目に関する取組み状況の説明に基づき自己評価の結果の報告があった。自己評価結果はS段階2項目、A段階21項目、B段階1、そして、総合的な評価はA段階との事であった。(今年度、評価基準は変えず、表記のみを変更(A⇒S、B⇒A、C⇒B)している。)</p> <p>なお、保護者の評価アンケートについても説明があった。回収率は65%であった。このアンケート結果では90%以上の保護者が肯定的な回答をした項目が前年度と同じく25項目中、20項目であった。しかしながら、アンケート回収率が前年度と比較して20ポイント以上減少していた。園の活動に多くの保護者の声を活かすためにもぜひ、回収率の改善に取り組んでももらいたいと意見を述べた。</p> <p>次に、各段階別の各取組み状況について意見を述べる。</p> <p>1) S段階の評価であった項目について意見を述べる。</p> <p>『1. (3) ②保育環境の充実』については、畑でのジャガイモやキュウリなど様々な種類の栽培が行われた。保護者会園芸委員さんのご協力を得て、会場を変更してまで実施した芋ほりでは、おいしい芋を参加された家庭には届けることができたとの事。行事等の実施にあたってはこれからも保護者の連携・協力を大切にして取り組んでほしい。『2. (1) 園の施設、設備、遊具、行事などの総点検』については、園庭の暑さ対策(テント2張り購入)、ホームクラス・年中3室の空調設備の改善、Wi-Fiの設置工事などに取り組まれたとの事。今後は、登降園管理システムや教務事務等に園内のICT化が活用され、効率的・効果的な教育・保育活動に取り組んでほしい。A段階と評価された『3. (1) 火災、災害などの発生などに対する安全確保』については、毎月の防災訓練の実施と振り返りなど毎年度の取組と併せて、全消火器の交換、排煙装置の改修工事など設備の充実に取り組んだとの事。地震等による災害に園児自らが適切な行動ができるよう引き続き全教職員が防災や減災に関する理解を深め、園児たちの安全確保に取り組んでほしい。委員会での協議を踏まえ、この項目はA段階からS段階に評価を変更した。</p> <p>2) A段階の評価であった項目は21項目あった。ここでは、2つの項目について意見を述べる。</p>
--

『1. (1) 組織体制の再構築』については、委員会でも見学させていただいた2歳児の状況が記載されている。本年度から6名の園児を受け入れ、2～3名の教員での対応や他学年との交流などをされたとの事。課題を整理して、次年度への引き継ぎが適切になされ、より一層保育の質が向上することを願っている。『1. (3) ⑤徒歩通園の取り組み』については、自転車（電動自転車も含む）通園の協力を繰り返し手紙で啓発しているとの事。次年度は自転車利用の際、乗車用のヘルメット着用が努力義務になる。警察等とも連携しながら、園児たちの安全確保のため、保護者の皆様への周知にも取り組んでいただきたい。

3) 評価がBであった項目『4. 子育て支援の充実(2)』について、意見を述べる。

本年度もコロナ禍の影響で未就園児親子登園(さくらんぼ組)が実施できなかったとの事であった。この事業の実施を要望されている声もあるとの事。次年度はコロナの感染状況等も見極めつつ、実施してほしい。

4) 総合的な評価結果について

委員会でも園児の教育・保育活動の様子や施設・設備なども見学させていただいた。園の教育方針に基づき、安心・安全な園の教育・保育活動が実施できるよう教職員間で議論を重ねるとともに、コロナ対策には十分注意を払いながら、行事の見直し、消毒・清掃の徹底などについて様々な工夫を重ね教育活動を行なったとの事。引き続き、教育目標に掲げられている幼児の心身ともに健康な成長発達のために適切な環境を用意し、幼児期にふさわしい集団生活が展開されるよう配慮した幼児教育に真摯に取り組んでほしい。

本委員会としては協議の結果、1) から3) により、各項目の自己評価結果をS段階3項目、A段階20項目、B段階1項目とした。4) より総合的な評価に対する自己評価結果も妥当であると判断した。

最後に、入園当初から新型コロナによるマスク着用や黙食など教育・保育活動に影響を受けた園児たちが卒園を迎えた。園の教育活動を縮小した事が将来どのような影響を及ぼすのか、憂慮するところである。

厳しい社会状況であるが、今後もコロナ感染症対策等を徹底するとともに、すべての園児や保護者等の要望に応える教育・保育活動にできるだけ取り組んでいただきたい。全教職員の皆様が、園児にとって、保護者にとって、そして地域社会にとって何が大切かを改めて熟考していただくとともに本園の教育目標の達成をめざした教育・保育活動に尽力されることを切に願っている。

5. 財務状況

公認会計士による年3回の監査において、より安定した経営に向かう努力をしていること、財務状態は適正であることについて評価を受けている。

令和4年度 清友幼稚園評価アンケート結果

先日は、幼稚園評価自己診断に関するアンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。
 今回、176名の保護者の皆様から回答を頂戴しました。保護者の皆様からの評価を真摯に受けとめ、園の経営や指導法の見直しにつなげていきたいと考えております。幼稚園の教育方針や教育内容をご理解いただいた上で、その取組を評価していただき、その結果を公表し幼稚園を開くことで、さらなる教育充実を目指してまいります。今後とも教育活動推進のためにご協力いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

		そう思う おおむね思う	やや思う	あまり思わない	そう思わない	
1	子どもは幼稚園に喜んで通園している	139			34	3
2	教育方針や教育内容・活動についてはよく分かる	125			46	5
3	園は一人一人の子どもをよく理解し、個性に応じた適切な援助に努めている	114			57	4
4	園は子どもの自主性や意欲を大切にしようと努めている	123			48	4
5	園は子どもたちが基本的な生活習慣が身につくように努めている	149			26	1
6	園は子どもたちが様々な遊びや活動を通して、集中して話を聞く態度を育てている	138			37	1
7	園は子どもたちが自分の思いが表現できるように努めている	110			55	11
8	園は子供たちが自然とのふれあい、直接体験を通して、命の大切さに気づくように育てている	123			44	9
9	園は子どもたちが友達の思いに気づき、互いに認め合えるように育てている	119			54	3
10	園は集団でのきまりを守る態度を育てている	147			29	1
11	園は小・中学校、高校、地域の人々との交流を通して人とかわる力を育てている	45	77	39		
12	子どもは園内外の行事に喜んで参加している	140			31	3
13	参観、懇談会、様々な行事で、子どもの様子や育ちがよくわかる	93			69	12
14	園内外は清掃が行き届き、衛生的な環境作りに努めている	147			28	1
15	園は子育ての参考になる情報の提供に努めている	78			78	19
16	園はホームページなどで情報公開することに積極的である	52	95		21	
17	園は安全管理に努め、危機管理意識向上に努めている	135			35	6
18	園は個人情報保護に努めている	132			40	3
19	園から出す手紙はよく分かる	123			48	3
20	子どものことを園や教員に相談しやすい	108			59	9
21	保護者会活動が活発で保護者どうしの交流の場になっている	81			63	27
22	園は担任だけでなく、園全体で子どもの保育に取り組もうと努めている	128			44	3
23	地域の幼稚園として子育て支援に努めている	90			63	18
24	家庭での基本的な生活習慣を身につけることができた	116			57	3
25	家庭で子どもとコミュニケーションを図ることができた	131			44	1